

ソーラン節の ものがたり

～荒波こえて未来へこぎ出せ！！



ソーラン節は、荒馬座が創立の頃から60年間踊り続けてきた踊りです。しかし、今の子どもたちにとって、ソーラン節とは伊藤多喜雄さんが歌うロック調のソーラン節。この踊りのルーツを辿ると、実は荒馬座のソーラン節もロックのソーラン節も、一人のシベリア抑留兵の兵隊さんに行き着くことが分かりました。元々は江戸時代の三ツシ漁の漁師たちが作業唄として歌っていたソーラン節。荒波の時代、平和への願いを込めて会員の皆さんと一緒に未来へ向かってこぎ出す「参加型の作品」です。

構成演出：宮河伸行

会員増やして未来へこぎ出せ！

会員の中に「伊藤多喜雄さんが歌うロック調のソーラン節」を踊った経験がある人たちが、事前ワークショップに参加して、例会当日と一緒に舞台上で踊ることが前提の作品です。

STEP ①

事前ワークショップで会員のみなさん（一人から可）が踊ってきたソーラン節を深めます。

STEP ②

例会当日、最後の仕上げのリハーサルをします。

STEP ③

例会本番、江戸時代の漁師として北海の海に船をこぎ出し、最後はロック調のソーラン節でそれぞれの平和への願いを込めて船を漕ぎ、作品と一緒に完成させます。



『ソーラン節のものがたり』 に期待します！！

伊藤多喜雄

ソーラン節は、北海道で生きた人の声から生まれた唄です。過酷な労働の中で励まし合い、命をつなぐために歌われてきました。また漁師にとっては命を懸けた一攫千金の夢を持つ仕事でもありました。私は、南中ソーラン節の歌手として、そのソーラン節を唄ってきた漁師さんたちの魂を現代に響かせたい一心で唄い続けています。このたび、荒馬座の皆さまが『ソーラン節のものがたり』を舞台にされることは、伝統が新しい世代へと手渡されていく、尊い営みであると感じております。物語を通して、ソーラン節の奥にある人々の暮らしや祈りに思いを馳せ、多くの子どもたちの心に新たな響きを生み出されますことを、心より期待しています。

- 陸の船 ○ 浜の大潮まつり ○ 浜獅子祓い太鼓 ○ ソーラン節のものがたり
○ フィナーレーみんなで踊ろう！『南中ソーラン』 ※変更することがあります ■上演時間約 60分

*本作品で使用するソーラン節の音源は、2026年9月23日に成増アクトホール（東京）で開催予定の「伊藤多喜雄&荒馬座ジョイントコンサート」のライブ録音の音源です。



〒174-0053 東京都板橋区清水町81-4 Tel.03-3962-5942 / Fax.03-3962-5021
E-mail: arauma@araumaza.co.jp URL <https://araumaza.co.jp>

民族歌舞団
荒馬座